KIORITZ

取扱説明書

共立溝切機
MKS4501SR

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

重要なお知らせ

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

この度は共立溝切機をお買い上げいただき、ありがとうございます。

●本製品は水田内での溝切作業を目的とした製品として使用して下さい。
・改造や使用目的以外の作業はしないで下さい。
・改造や使用目的以外の作業をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意下さい。

●この取扱説明書記載の指示事項を守らなかったり、改造したり、あるいは運転・保守作業にあたり、通常必要とされる注意または用心をしないで生じた損害または障害に対しては一切責任を負いません。

●この乗用溝切機は国内での使用を前提にしています。したがって、この乗用溝切機を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故等による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

●傷害の発生を避けるため、本来の使用目的以外の乗用溝切機の使用やこの取扱説明書に述べている以外の運転・保守作業はやめて下さい。

●製品の使用目的
・この製品は水田での溝切り作業を目的とした製品です。
水田内での溝切り作業時にのみ、馬乗り状態でシートにまたがって作業をしてください。
水田での溝切り作業以外には使用しないでください。

●製品の使用者について
・この製品は取扱説明書をよく読んで充分に熟知した人が使用してください。
また、共立エンジンGE4500の取扱説明書もよく読んでください。
・取り扱い説明書をよく読んでいない人、風邪や疲労など体調のよくない人、酒を飲んでいる人、薬物の影響がある人、16歳未満の人は製品を使用しないでください。
・体重が90Kg以上の方は製品の使用ができません。
・作業にあたっては、あらかじめ圃場条件を作り、必ず走り水を入れて走行して下さい。
又、簡易乗用タイプですので無理な運転はさけて下さい。

●取扱説明書について
・本書には、製品の操作、整備に必要な重要な情報が描かれています。よく読んで理解してください。
・本書はいつでも読めるように必ず保管してください。
・本書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。

●製品貸与、譲渡
・本書で解説する製品を貸与する場合、借りて作業する人に、この取扱説明書とともに製品を貸与してください。製品を譲渡される場合は、本書を製品に添付してお渡しください。

●おことわり

・本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更することがあります。また、使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
・本製品は一部部品の組み立て作業が必要となります。
・ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。

●お問い合わせ先

・この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命はお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

目　次

⚠安全にご使用いただくために……1
■警告表示……1
■その他の表示……1
■シンボルマーク……1
■警告表示ラベル……1
■一般的なご注意……2
1．各部の名称と機能……3～4
2．組　立……5～6
3．作業前の手順……7
◎圃場条件の作りかた……7
◎作業の服装……7
◎運搬方法……7～8
◎燃料の給油および補給について……8
4．操作方法……9
◎エンジン始動……9
◎エンジン停止……10
◎溝切り作業……10～11
◎調　整……11
◎点検・整備……12～13
5．仕　様……14

安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

■警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を負う危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。
安全作業のためによく読んで、必ず守ってください。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

■その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。

丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重　要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

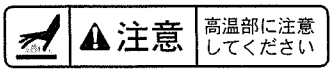
■シンボルマーク

本書と製品ではシンボルマークを使って説明しています。各シンボルマークの意味を充分に理解してください。

シンボルマーク	シンボルマークの意味	シンボルマーク	シンボルマークの意味
	ご使用前に取扱説明書を読み、正しく作業すること。		電気ショックに注意すること。
	製品を通気の悪い場所では使用しないこと。		高温部に注意すること。
	火災に注意すること。		

■警告表示ラベル

・本書で解説されている製品には、下図の「警告表示」のラベルが貼ってあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。
・ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、３ページに指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



部品番号：890157-55630

⚠ 注　意

ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。

部品番号：890016-06411

安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

・ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
・本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。
☆印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

■一般的なご注意

⚠ 警　告

●取扱説明書

・ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。



☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用目的以外の使用禁止

・製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。
・疲労している人
・酒を飲んでいる人
・薬物を服用している人
・妊娠している人
・体調不良の人
・取扱説明書を読んでいない人
・16歳未満の人



☆事故の原因となります。

●製品の改造禁止

・製品を改造してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●点検・整備をしていない製品の使用禁止

・点検・整備をしていない製品を使用してはいけません。定期的な点検・整備を必ず行なってください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の貸与、譲渡

・製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。
・製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用環境・作業環境

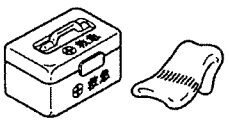
・夜間や視界が悪く暗い場所などでは製品を操作しないでください。
☆誤った操作により、重傷を負う原因となります。

●健康管理

・健康管理のために、休憩を取りながら余裕を持って作業してください。
・厚生労働省の通達は次のとおりです。
　1日の使用時間：2時間以内
　1回の連続作業時間：30分以内
　1回の連続作業後の休止時間：5分以上
☆健康障害を受ける恐れがあります。

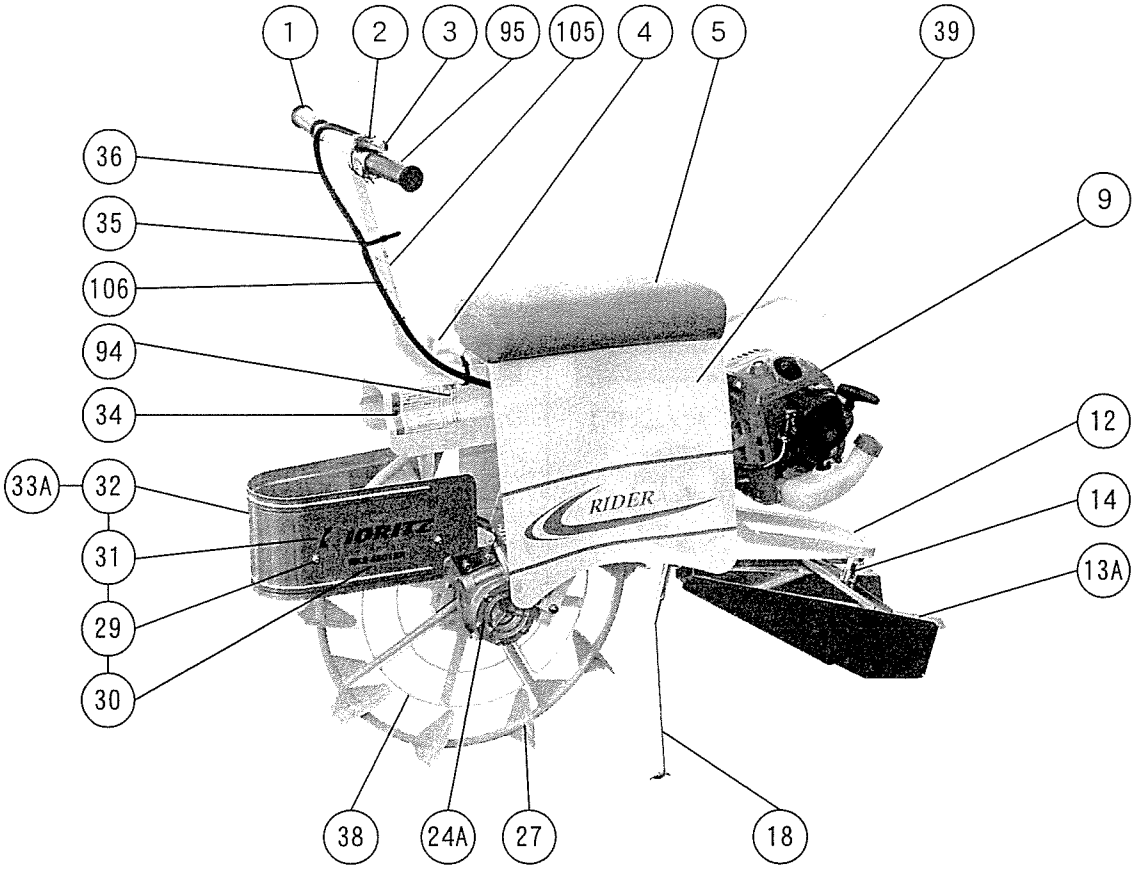
●ケガへの備え

万一の事故やケガへの準備をしてください。
・救急箱（応急手当用）
・タオルやてぬぐい（止血用）
・呼子や携帯電話（外部との連絡用）
☆緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



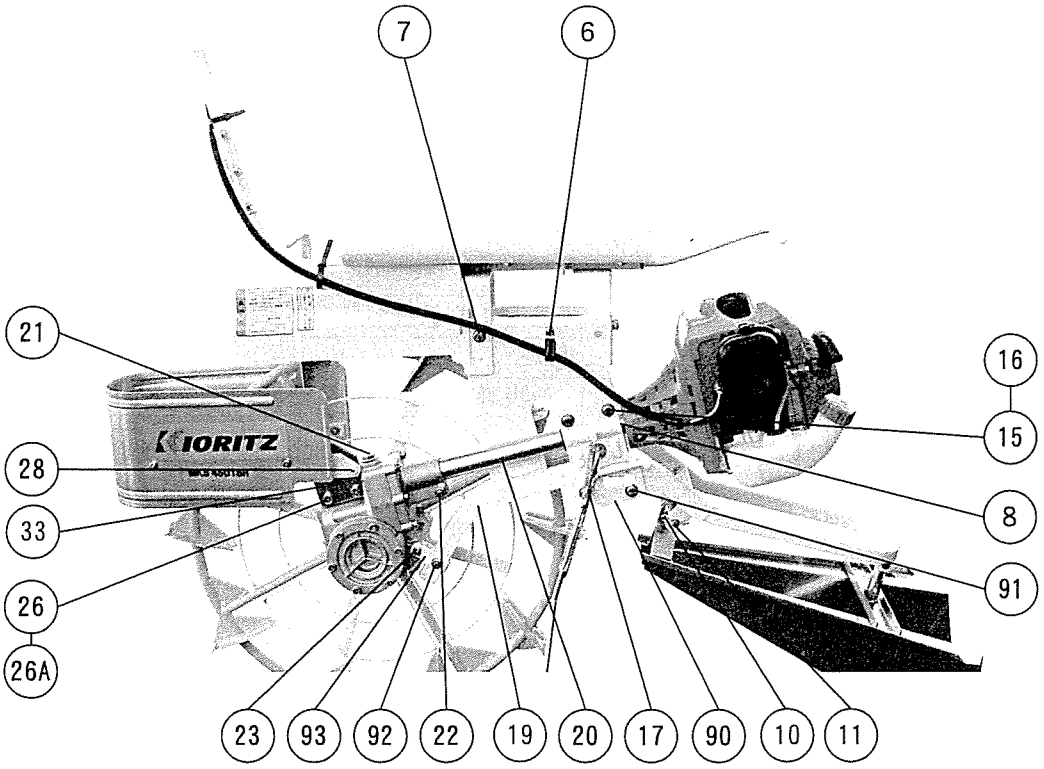


1．各部の名称と機能



◆部品名

図番	品　　名	個数	図番	品　　名	個数
1	ハンドル	1	26	トッテトメボルト	2
2	スロットルレバー	1	26A	ベースクッション	2
3	ストップスイッチ	1	27	シャリン	1
4	シートダイ	1	28	ブンソウバンパイプトメボルト	2
5	シート	1	29	ブンソウバントメボルト	4
6	コードフック	1	30	型式マーク	2
7	シートダイボルト	4	31	共立ラベル	2
8	ボウシンゴム	1	32	ブンソウバン	1
9	共立エンジン	1	33	ブンソウバンベース	1
10	プラウトメボルト	1	33A	ブンソウバンＡＳＳＹ	1
11	ピン（10×113）	1	34	警告表示ラベル	1
12	アームパイプ（U）	1	35	インシュロック（140）	2
13A	プラウ（D）ＡＳＳＹ	1	36	コード	1
14	パイプ（プラウササエ）	1	38	ホイル（ガード／カク）	4
15	スピンドルパイプ締付ボルト	2	39	ドロヨケフラップ	1
16	カラー	2	90	パイプササエ	1
17	スタンドバネ	1	91	パイプササエボルト	2
18	スタンド	1	92	フレームパイプトメボルト	1
19	フレーム	1	93	プレートフレームマエ	1
20	スピンドルパイプ	1	94	ラベル（オイル）	1
21	オイルプラグ	1	95	ラベル（ケイコク）	1
22	スピンドルパイプトメボルト	2	105	ジョイント（A）	1
23	フレームトメボルト	1	106	ジョイント（B）	1
24A	ミッションＡＳＳＹ	1			



注意 高温部に注意してください

部品番号：890157-55630

注　意

ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。

部品番号：890016-06411

2．組　　立

⚠ 警　告

・正しく組み立ててください。誤って組み立てたものを使用すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠ 警　告

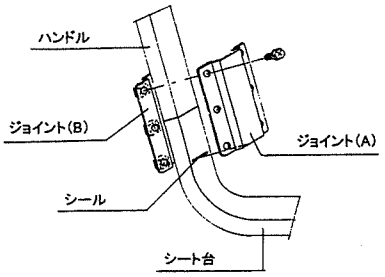
・機械の改造はしないでください。重大な事故を起こす恐れがあります。

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

燃料およびエンジンの取扱いについては、共立エンジンGE4500の取扱説明書をよく読んで使用してください。

◆組み立て方法◆

1．ダンボールをあけ、記載されている内容が間違いなく入っている事を確認してください。
2．本体にプラウを取付けて下さい。（Ｐ６の「プラウの取付方法」を参照）
3．シート台を７番シートダイボルトＭ８×20（３本）で固定してください。
（この時、お客様の身長に合わせて高さを調整してください。）
4．ハンドルをシート台に付けて、ジョイント（A）（B）で図のようにボルトＭ６×12（６本）で固定して下さい。
※シート台のシールが貼ってある所に、ジョイントの下面を合わせて固定して下さい。
5．２番スロットルレバー、３番ストップスイッチをハンドルの左右任意の位置に固定してください。
6．本体を組立後、必ず各ボルトの緩みがないか確認し、体に合った高さでご使用ください。

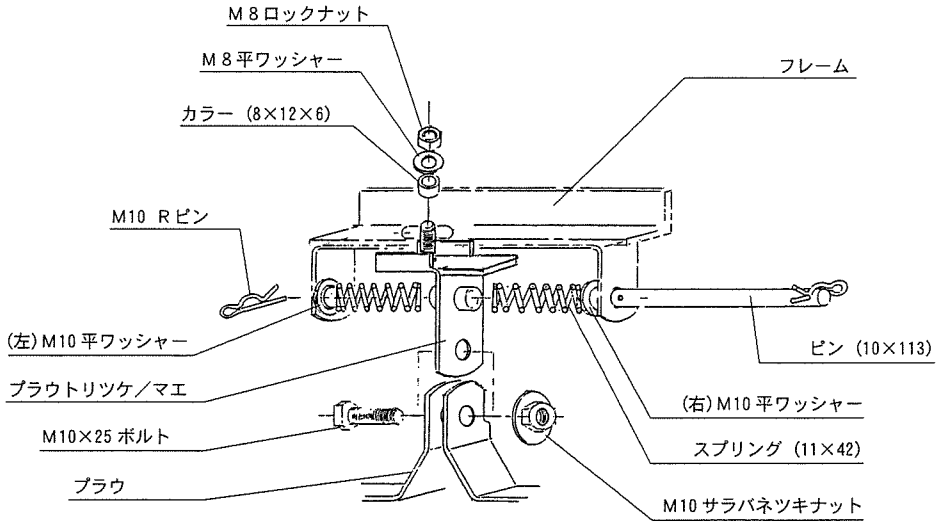


◆プラウの取付方法◆

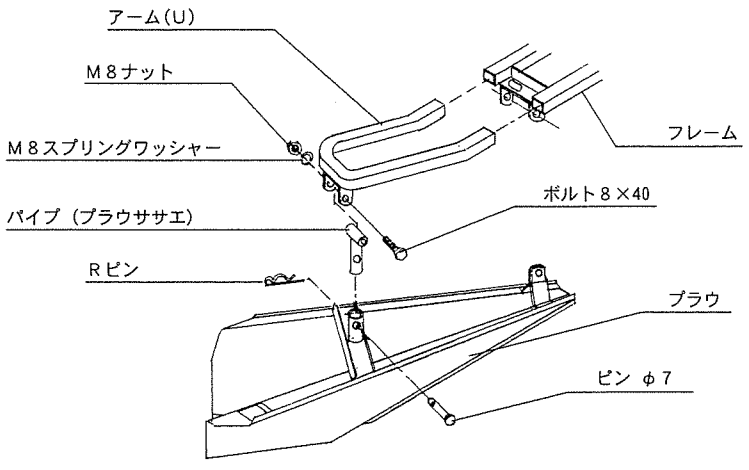
※①～②までは組立済み

①プラウトリツケ／マエのネジ部にカラーを入れ、Ｍ８平ワッシャーを入れロックナットで固定する。（必ずプラウトリツケ／マエが右・左に移動する事を確認して下さい。移動しない場合はＭ８ロックナットを少し緩め調節して下さい。）
②ピン（10×113）をフレームの穴に入れM10平ワッシャー、スプリング、プラウトリツケ／マエのパイプに入れ、スプリング、M10平ワッシャーに通し、Ｒピンで留めて下さい。

③プラウでプラウトリツケ／マエの板をはさみ、穴を合わせM10×25のボルトをサラバネツキナットで仮締めをして下さい。



④アーム（U）をフレーム後ろ角パイプに差し込んで下さい。
⑤Ｒピンを外してパイプ（プラウササエ）をプラウのパイプに入れ、穴を合わせφ7のピンを通し、Ｒピンで留めて下さい。
⑥パイプ（プラウササエ）のＭ８×40のボルトとナットで締め固定して下さい。
⑦③で仮締めしていたボルトを締め固定して下さい。



3. 作業前の手順

◎圃場条件の作りかた

○本製品を使用して溝切作業を行なうためには、作業に適した圃場の条件を整えることが必要です。

1．田植え前に圃場ができるだけ平らになるように耕耘作業を行って下さい。
2．溝切り作業の前には、土の表面に小さくヒビが入る程度に圃場を乾かして下さい。
3．溝切り作業の直前に必ず走り水を５cm～10cm入れて作業を行なって下さい。

⚠ 警　告

・必ず走り水をして作業を行なって下さい。
☆走り水をしないで使用すると、フレーム、車輪、プラウが破損し重傷を負うケガの原因になります。
☆ミッションケースに負担がかかり、ミッションケース及び、ケース内のオイルが高温になり思わぬ事故の原因となります。

4．溝切り作業後は、すみやかに落水して、中干しをして下さい。

⚠ 注　意

・本製品は、極端な湿田や乾田など条件の合わない圃場では使用できません。
・石、小石などの入っている圃場では使用できません。
☆車輪、フレーム、プラウ、ミッションケースなどの破損の原因となります。

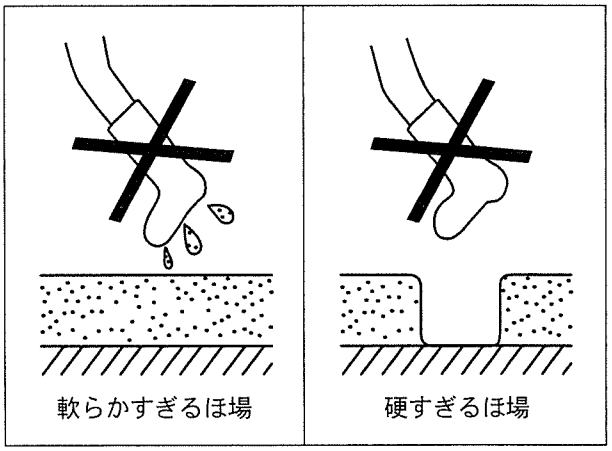
重 要

●次のようなほ場では、溝切り作業ができない場合があります。

・耕盤までの深さが30cm以上の深いほ場。
・歩いても足跡がすぐ埋まるような軟らかいほ場や、足跡が完全に残るような硬いほ場。
・切り株や稲ワラなどが表面に多量にあるほ場。

●上記以外でも条件によっては溝切り作業ができない場合があります。

●必ず溝切り作業前に走り水を５cm～10cm程度入れて下さい。



◎作業の服装

⚠ 注　意

・身体に合った作業衣を着用してください。体が露出しないようにしてボタン、ファスナを完全にして作業衣のすそはズボンの中に入れ、すそじまりをよくしてください。帽子、耳栓、保護手袋、作業長靴等の保護具を必ず着用してください。

◎運搬方法

⚠ 注　意

・運搬は必ずエンジンを停止して行ってください。

・スタンドを後方へはね上げてください。
・運搬時は製品の取っ手のいずれかを運搬姿勢によって選び、両手で持って運搬してください。取っ手以外の部分を持たないでください。
・圃場への出し入れは降車して行ってください。
・車、トラックでの運搬時は、横倒ししての運搬はしないで下さい。

⚠ 警　告

・乗車しての運搬、移動は行わないでください。
・運搬時は、クラッチハウジング、及びエンジン部のロープ掛はしないで下さい。

⚠ 警　告

・水田内での溝切り作業以外では乗車しないでください。

◎燃料の給油および補給について

⚠ 危　険

・燃料は引火しやすいので、取扱いは火災に充分注意してください。
燃料補給中にタバコを吸ったり、裸火を近づけたりしてはいけません。
・エンジンが熱いときや、エンジンを運転したまま燃料補給をしてはいけません。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こすことになります。



⚠ 警　告

・燃料を補給する際は燃料補給ポンプを使用し、機体が安定した状態で給油口からこぼさないように注意して補給してください。製品に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。
・燃料を補給した後は燃料タンクキャップを確実に締付け、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こす原因となります。

重　要

・燃料はレギュラーガソリンと、２サイクルエンジンオイルを混合した「混合燃料」です。
共立エンジンGE4500の取扱説明書をよく読んで混合および補給を行ってください。

4. 操作方法

⚠ 警　告

・操作にあたっては共立エンジンGE4500の取扱説明書もよく読んで行ってください。特にエンジンを始動する場合は記載の注意事項を守って正しく操作してください。
☆注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故を負う原因となります。

◎エンジン始動

⚠ 注　意

・エンジンを始動する前に、ボルトや、ナット、ネジが締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合はまし締めしてください。部品の破損、欠品があれば正規の部品の交換、取り付けを行ってください。

⚠ 注　意

・エンジン始動は、足場のよい本機がしっかりと固定できる場所で行ってください。エンジン始動時に、スロットルレバーを低速の位置にしておいても、車輪が動く場合は、すぐにエンジンを停止させて、エンジン側取扱説明書を読んで各部の調整をしてください。スタータグリップを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合があるので、注意してください。
☆車輪が動いてけがをすることがあります。

重　要

・スタータグリップを引くときは、まず軽く引出し更に素早く引いてください。引き紐の２／３以上は引出さないでください。
・スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。
・エンジン始動操作のときに最初の爆発音が聞こえたら、チョークレバーを戻して再度スタータグリップを引くと始動します。最初の爆発音を聞き逃さないようにしてください。

○冷えたエンジンの始動

1．燃料が漏れていないことを確認します。
2．スロットルレバーは低速、チョークレバーを閉じるの位置にします。
3．プライマリーポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリーポンプを押す・離すの操作をくり返してください。（目安５～10回）
4．周囲の安全を確認し本機をしっかりと固定してスタータグリップを数回引いてください。
5．爆発音がして、すぐに止まった場合は、チョークレバーを開くに戻して、更にスターターグリップを引き始動させてください。
6．上記４、の操作ですぐにエンジンが始動したら、チョークレバーを徐々に開にしてください。
7．エンジンが始動したら、２～３分間、アイドリング（低速運転）で暖機運転をしてください。
8．作業を開始するときは、スロットルレバーをゆっくりと高速側に動かし、作業に合わせて回転数を調整してください。

○暖まったエンジンの始動

1．スロットルレバーは低速、チョークレバーを開の位置にします。
2．燃料タンクが空でなければ、スターターグリップを引いてエンジンを始動させてください。
3．燃料がプライマリポンプ内に見えないときは、プライマリポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリポンプの操作（押す⇔離す）を繰り返してください。（目安５～10回）
4．周囲の安全を確認し本機をしっかりと固定してスタータグリップを引いてエンジンを始動させてください。

◎エンジン停止

1．スロットルレバーを低速の位置にし、エンジンをアイドリング（低速運転）状態にしてください。
2．エンジンが停止するまでストップスイッチを押してください。
3．緊急の場合は、直ちにストップスイッチを押してエンジンを停止してください。
4．エンジンが停止しない時はチョークレバーを閉の位置にしてエンジンを失速させて停止してください。

☆ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合は、再び使用する前に、お買い求めの販売店で、点検と修理を実施してください。

⚠ 注　意
・エンジン停止後しばらくは火傷防止のためにシリンダーやマフラー、ミッション部などの高温部に触らないでください。

◎溝切り作業

・溝切り作業を行う前に、作業者の体型に合わせて、シート（座席）の高さをあらかじめ調整してください。
・前後左右のバランスがとれる位置に着座してください。
・着座前に進みたい方向に本機をまっすぐにむけて着座してください。

○操　作

1．エンジン始動後、スロットルレバーでエンジンの回転を徐々に上げていくと車輪が回転を始めます。
2．エンジンの回転が充分に上がり、本機が走行を始めると同時に、両足で2～3歩の助走をしながら、蹴り出すようにスキーのストック使いの要領で左右のバランスを取りながらスタートします。
3．スロットルレバーの位置は圃場の条件によって調節してください。自転車等と同様に、前後左右のバランスを保つには一定の作業速度になることが必要です。
4．スタート時に車輪が泥へ大きく沈み込み、車輪の回りはじめが重たい場合は、着座位置を少しずつ後方にずらし、重心位置をかえてください。
車輪が空転して牽引力が不足している場合は、着座位置を少しずつ前方にずらし、重心位置をかえてください。
5．車輪が泥の中に埋まってしまい車輪が回らなくなってしまった場合は、すみやかにスロットルレバーの位置を低速に戻し、その場から脱出してください。
エンジンを停止し本機からおりて、持ち上げてスタート場所を変えるか、手押し式と同じようにエンジン回転を徐々にあげて車輪がゆるやかに回転する程度の速度で歩行して、着座スタートができる場所まで移動してください。

⚠ 警　告
・エンジン回転を急に上げると、前後左右へのバランスをくずし転倒する危険があります。徐々にエンジン回転をあげてスタートしてください。 ・着座して、スロットルレバーの位置を高速にしたまま、無理に脱出の試みを続けると、エンジン、本体の故障の原因となります。また、本機のダッシング（飛び出し）の原因ともなり危険です。

6．本機が進み始めたら、両足を前方にのばし、足裏で水面を滑る感じで左右のバランスを取りながら作業をしてください。
7．本機の進行方向は無理に修正せず、進みたい方向をまっすぐに見すえて走行してください。
☆本製品は、左右にバランスよく着座すれば、車輪の方向に直進するように設計されています。

⚠ 警　告

・無理に本機を傾けたり、足で抵抗をかけて進行方向を修正しようとするとバランスをくずし転倒する危険があります。進行方向がずれてきた場合は、いったん停止し、本機を進みたい方向にむけなおし、作業を再開してください。
・走行中、転倒しそうな時は、足を巻き込まれケガをする恐れがありますので、その場合はすぐに停止ボタンを押して停止させて下さい。

8．本機で方向転換を行う場合は、必ずエンジンを停止し本機からおりて、作業者が最も持ち上げやすい取っ手２個所を両手で持って行ってください。

9．水田内で作業する条を移動する場合は、溝切り作業と同様に着座しておこなうか、歩行式溝切機と同様に、歩行して移動することができます。

10．運転中に異常な音、振動や異常な回転、走行部への石など異物のかみ込み等が生じた場合は直ちにエンジンを停止させ点検してください。

11．走行中、ミッションケースが過熱した場合は直ちにエンジンを停止させ、点検して下さい。

⚠ 注　意

・一つの圃場の中でも、一部深く沈みこむ場所など着座して作業ができない場所では、すみやかに本機からおりて歩行して作業をし、深く沈みこまない場所になったことを確認して、あらためて着座して作業を開始してください。

⚠ 警　告

・二人乗りや本機の改造は大変危険ですのでお止めください。
・夜間や、視界が悪く暗い場所では、機械を操作しないでください。雨降り、雨上がり、強風のときも使用しないでください。
・運転中、あぜの上に乗り上がらないで下さい。バランスをくずし、転倒しケガをします。
水田内作業中あぜに近づいて来たら、すみやかにスロットルレバーの位置を低速に戻して停止して下さい。

12．本体のプラウはセンターを中心に、左右に６㎜可動します。うまくバランスをとる事により任意方向に進む事ができます。

⚠ 注　意

・プラウの取付けている箇所に泥などが入り動きにくくなった場合は水洗いをしてスムーズに動く事を確認し作業して下さい。

◎調整

○シートの高さ調整

１．シート台取り付けのボルト（Ｍ８×20）を緩めて体型に合わせて調整してください。

○分草板の調整

１．分草板の取り付けパイプ元金のボルトを緩めますと取付角度を調整することができます。
分草板が土に埋まる場合は、取付角度をあげてください。

○本体の右方向、左方向の曲がり調整（Ｐ６図参照）

１．右方向への曲がり
スプリングの両サイドに挟んである右側のＭ10ワッシャーを外して使用して下さい。

２．左方向への曲がり
左側のＭ10ワッシャーを外して使用して下さい。

３．１．２．の方法でも改善されない場合は、外したワッシャーを（右側）（左側）のワッシャーと重ねて使用して下さい。

◎点検・整備

製品を調子よく、安全に使用するために定期的に点検・整備をして下さい。

⚠ 注　意
・点検・整備をする前に必ずエンジンを停止し、冷えた状態でスパークプラグを外して作業して下さい。

・ここに示した整備の時間間隔は、最長時間です。作業頻度や今までの実績から判断して必要な整備頻度／間隔を決定して下さい。

・点検・整備をするときは共立エンジンGE4500の取扱説明書も必ず良く読んで実施して下さい。

整備箇所		整　備	使用前	毎　月
エアフィルタ		清掃／交換	●	
燃料フィルタ		清掃／交換	●	
スパークプラグ		点検／清掃／交換		●
キャブレタ		調整		●
冷却装置		点検／清掃	●	
マフラ		点検／清掃	●	
スクリュー、ボルト、ナット		清掃／増し締め／交換	●	
本体部				
1	フレーム．車輪(溶接箇所)	点検／清掃／交換	●	
2	フレーム右側車輪メタル部	点検／交換	●	
3	プラウ	点検／清掃／交換	●	

⚠ 警　告
・車輪・フレームは腐食、破損等の異常がないか作業前に必ず確認してご使用下さい。異常があるとケガをする恐れがあります。 ・プラウはすり減っている場合は交換して下さい。 ・部品の破損や欠品がある場合は必ず正規の部品の交換、取付けを行って下さい。 ・作業後は必ず、水洗いをし水を十分ふきとって保管して下さい。

⚠ 注　意
・フレーム右側の車軸メタル部の回転がスムーズでない場合はベアリングを交換して下さい。

※　ミッションへの給油

・ミッションにはギヤオイル（約370cc）が入っています。500㍗（５町歩）～1000㍗（10町歩）・又２年間の使用をめどに必ずオイルを交換して下さい。

・ギヤオイルは日本石油GL-5ハイポイドギヤオイル相当品をご使用下さい。

・オイル交換は、ミッション下部のオイルドレンプラグを外して、すべてオイルを抜いて下さい。

⚠ 警　告
・オイルのよごれ・不足によりミッションケース、ケース内オイルの温度が高温になりやけどをします。必ずオイル交換して下さい。 ・オイル点検又は交換後、オイルプラグが確実に締付けてあるか、必ず確認をして作業を行って下さい。

⚠ 注　意
・オイルに鉄粉が多く混入している場合は、フタを外してミッション内の歯車を点検し、すり減っている場合は部品を交換して下さい。

・オイルを入れる時は、上部オイルプラグより入れて下さい。
・オイルもれがないか、確認をしてご使用下さい。
・補用部品はすべて指定の純正部品をご使用下さい。

○長期保管（30日以上）
製品を長期間（30日以上）に渡って保管する場合は、
①共立エンジンGE4500の取扱説明書の内容に従って保管の際の整備を必ず実施して下さい。
②各部の泥をていねいに水洗いをして下さい。
③水洗い後、水を十分ふきとって下さい。
④保管する時は、日光の当たらない風通しの良い場所に、固定をしてたおれないようにして下さい。

○製品の廃棄について
製品や部品を廃棄する時は、販売店に相談するか、自治体の指導に従って下さい。

●おことわり

・本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更することがあります。また、使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
・本製品は一部部品の組み立て作業が必要となります。
・ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。

●お問い合わせ先

・この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命はお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

目　次

⚠安全にご使用いただくために……1
■警告表示……1
■その他の表示……1
■シンボルマーク……1
■警告表示ラベル……1
■一般的なご注意……2
1．各部の名称と機能……3～4
2．組　立……5～6
3．作業前の手順……7
◎圃場条件の作りかた……7
◎作業の服装……7
◎運搬方法……7～8
◎燃料の給油および補給について……8
4．操作方法……9
◎エンジン始動……9
◎エンジン停止……10
◎溝切り作業……10～11
◎調　整……11
◎点検・整備……12～13
5．仕　様……14

安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

■警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を負う危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。
安全作業のためによく読んで、必ず守ってください。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

■その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。

丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重　要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

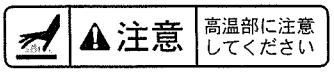
■シンボルマーク

本書と製品ではシンボルマークを使って説明しています。各シンボルマークの意味を充分に理解してください。

シンボルマーク	シンボルマークの意味	シンボルマーク	シンボルマークの意味
	ご使用前に取扱説明書を読み、正しく作業すること。		電気ショックに注意すること。
	製品を通気の悪い場所では使用しないこと。		高温部に注意すること。
	火災に注意すること。		

■警告表示ラベル

・本書で解説されている製品には、下図の「警告表示」のラベルが貼ってあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。
・ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、３ページに指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



部品番号：890157-55630

⚠ 注　意

ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。

部品番号：890016-06411

安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

・ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
・本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。
☆印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

■一般的なご注意

⚠ 警　告

●取扱説明書

・ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。



☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用目的以外の使用禁止

・製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。
・疲労している人
・酒を飲んでいる人
・薬物を服用している人
・妊娠している人
・体調不良の人
・取扱説明書を読んでいない人
・16歳未満の人



☆事故の原因となります。

●製品の改造禁止

・製品を改造してはいけません。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●点検・整備をしていない製品の使用禁止

・点検・整備をしていない製品を使用してはいけません。定期的な点検・整備を必ず行なってください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の貸与、譲渡

・製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。
・製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。
☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用環境・作業環境

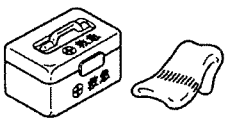
・夜間や視界が悪く暗い場所などでは製品を操作しないでください。
☆誤った操作により、重傷を負う原因となります。

●健康管理

・健康管理のために、休憩を取りながら余裕を持って作業してください。
・厚生労働省の通達は次のとおりです。
　1日の使用時間：2時間以内
　1回の連続作業時間：30分以内
　1回の連続作業後の休止時間：5分以上
☆健康障害を受ける恐れがあります。

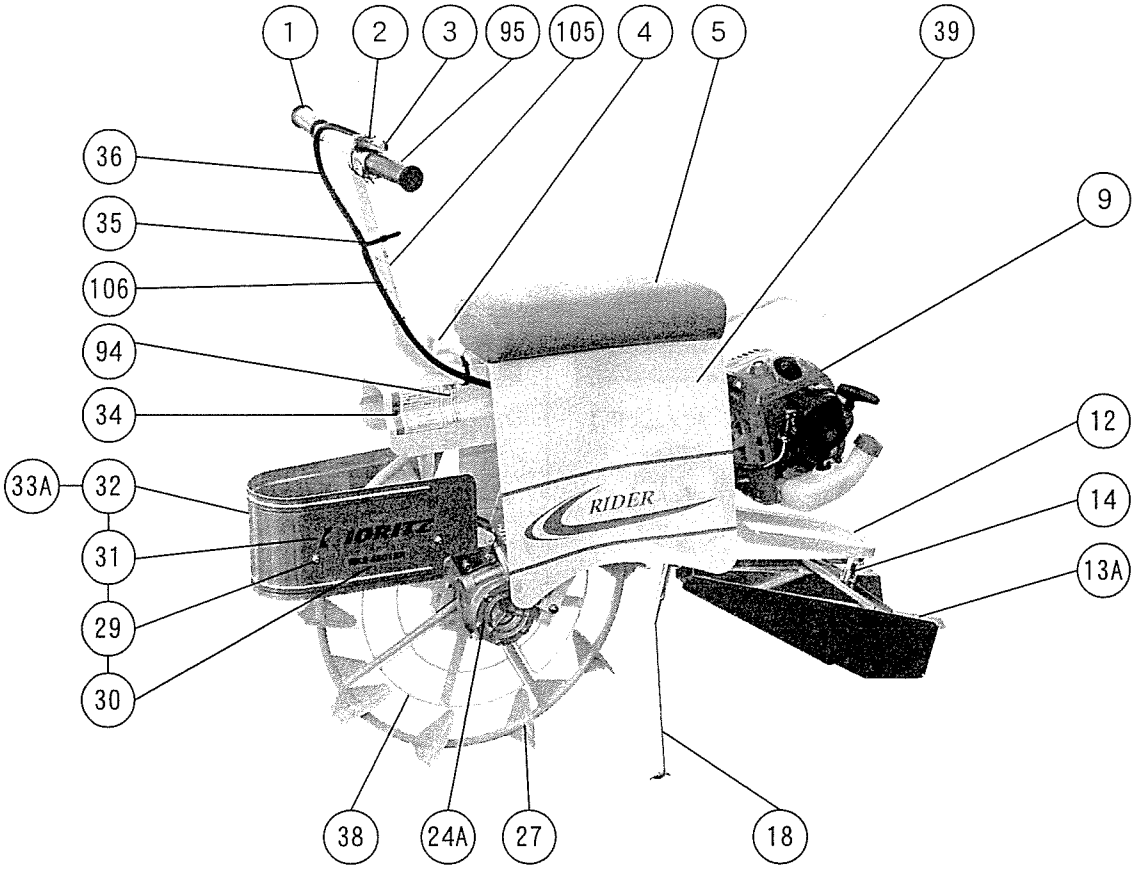
●ケガへの備え

万一の事故やケガへの準備をしてください。
・救急箱（応急手当用）
・タオルやてぬぐい（止血用）
・呼子や携帯電話（外部との連絡用）
☆緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



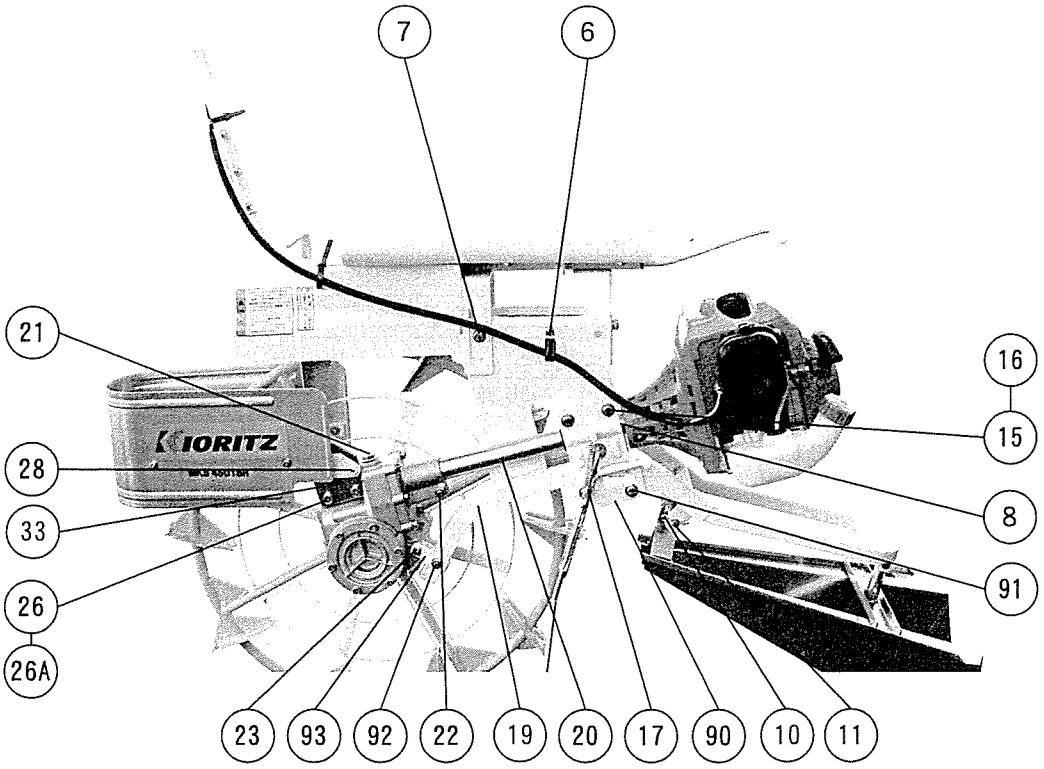


1．各部の名称と機能



◆部品名

図番	品　　名	個数	図番	品　　名	個数
1	ハンドル	1	26	トッテトメボルト	2
2	スロットルレバー	1	26A	ベースクッション	2
3	ストップスイッチ	1	27	シャリン	1
4	シートダイ	1	28	ブンソウバンパイプトメボルト	2
5	シート	1	29	ブンソウバントメボルト	4
6	コードフック	1	30	型式マーク	2
7	シートダイボルト	4	31	共立ラベル	2
8	ボウシンゴム	1	32	ブンソウバン	1
9	共立エンジン	1	33	ブンソウバンベース	1
10	プラウトメボルト	1	33A	ブンソウバンＡＳＳＹ	1
11	ピン（10×113）	1	34	警告表示ラベル	1
12	アームパイプ（U）	1	35	インシュロック（140）	2
13A	プラウ（D）ＡＳＳＹ	1	36	コード	1
14	パイプ（プラウササエ）	1	38	ホイル（ガード／カク）	4
15	スピンドルパイプ締付ボルト	2	39	ドロヨケフラップ	1
16	カラー	2	90	パイプササエ	1
17	スタンドバネ	1	91	パイプササエボルト	2
18	スタンド	1	92	フレームパイプトメボルト	1
19	フレーム	1	93	プレートフレームマエ	1
20	スピンドルパイプ	1	94	ラベル（オイル）	1
21	オイルプラグ	1	95	ラベル（ケイコク）	1
22	スピンドルパイプトメボルト	2	105	ジョイント（A）	1
23	フレームトメボルト	1	106	ジョイント（B）	1
24A	ミッションＡＳＳＹ	1			



注意 高温部に注意してください

部品番号：890157-55630

注　意

ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。

部品番号：890016-06411

2．組　　立

⚠ 警　告

・正しく組み立ててください。誤って組み立てたものを使用すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠ 警　告

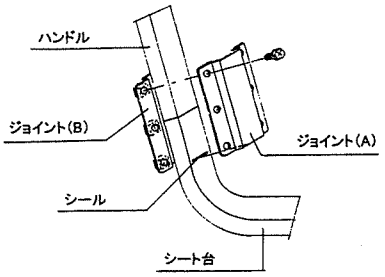
・機械の改造はしないでください。重大な事故を起こす恐れがあります。

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

燃料およびエンジンの取扱いについては、共立エンジンGE4500の取扱説明書をよく読んで使用してください。

◆組み立て方法◆

1．ダンボールをあけ、記載されている内容が間違いなく入っている事を確認してください。
2．本体にプラウを取付けて下さい。（Ｐ６の「プラウの取付方法」を参照）
3．シート台を７番シートダイボルトＭ８×20（３本）で固定してください。
（この時、お客様の身長に合わせて高さを調整してください。）
4．ハンドルをシート台に付けて、ジョイント（A）（B）で図のようにボルトＭ６×12（６本）で固定して下さい。
※シート台のシールが貼ってある所に、ジョイントの下面を合わせて固定して下さい。
5．２番スロットルレバー、３番ストップスイッチをハンドルの左右任意の位置に固定してください。
6．本体を組立後、必ず各ボルトの緩みがないか確認し、体に合った高さでご使用ください。

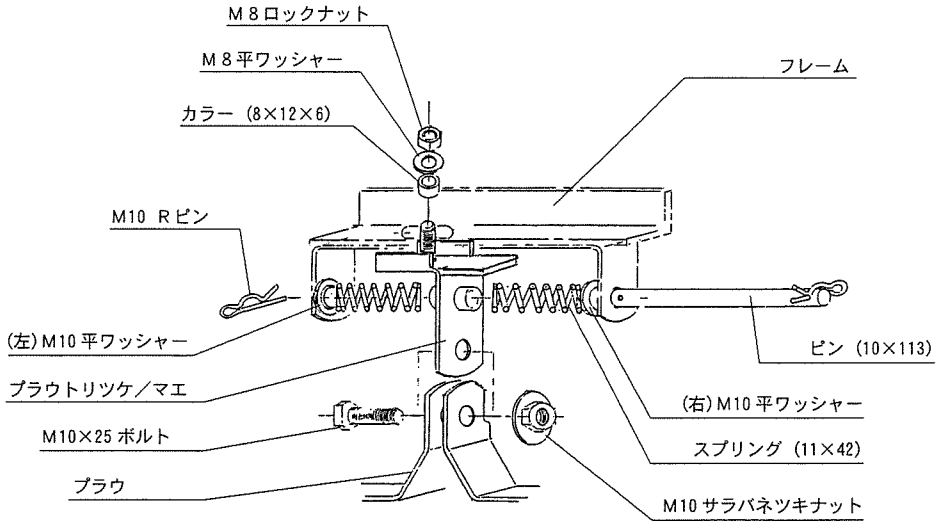


◆プラウの取付方法◆

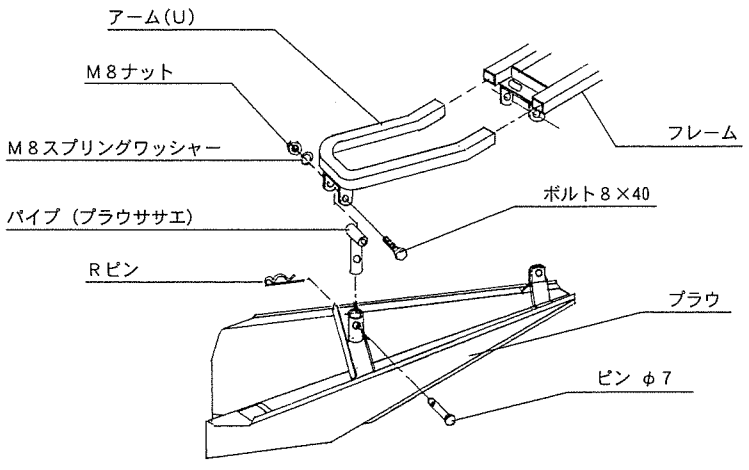
※①～②までは組立済み

①プラウトリツケ／マエのネジ部にカラーを入れ、Ｍ８平ワッシャーを入れロックナットで固定する。（必ずプラウトリツケ／マエが右・左に移動する事を確認して下さい。移動しない場合はＭ８ロックナットを少し緩め調節して下さい。）
②ピン（10×113）をフレームの穴に入れM10平ワッシャー、スプリング、プラウトリツケ／マエのパイプに入れ、スプリング、M10平ワッシャーに通し、Ｒピンで留めて下さい。

③プラウでプラウトリツケ／マエの板をはさみ、穴を合わせM10×25のボルトをサラバネツキナットで仮締めをして下さい。



④アーム（U）をフレーム後ろ角パイプに差し込んで下さい。
⑤Ｒピンを外してパイプ（プラウササエ）をプラウのパイプに入れ、穴を合わせφ7のピンを通し、Ｒピンで留めて下さい。
⑥パイプ（プラウササエ）のＭ８×40のボルトとナットで締め固定して下さい。
⑦③で仮締めしていたボルトを締め固定して下さい。



3. 作業前の手順

◎圃場条件の作りかた

○本製品を使用して溝切作業を行なうためには、作業に適した圃場の条件を整えることが必要です。

1．田植え前に圃場ができるだけ平らになるように耕耘作業を行って下さい。
2．溝切り作業の前には、土の表面に小さくヒビが入る程度に圃場を乾かして下さい。
3．溝切り作業の直前に必ず走り水を５cm～10cm入れて作業を行なって下さい。

⚠ 警　告

・必ず走り水をして作業を行なって下さい。
☆走り水をしないで使用すると、フレーム、車輪、プラウが破損し重傷を負うケガの原因になります。
☆ミッションケースに負担がかかり、ミッションケース及び、ケース内のオイルが高温になり思わぬ事故の原因となります。

4．溝切り作業後は、すみやかに落水して、中干しをして下さい。

⚠ 注　意

・本製品は、極端な湿田や乾田など条件の合わない圃場では使用できません。
・石、小石などの入っている圃場では使用できません。
☆車輪、フレーム、プラウ、ミッションケースなどの破損の原因となります。

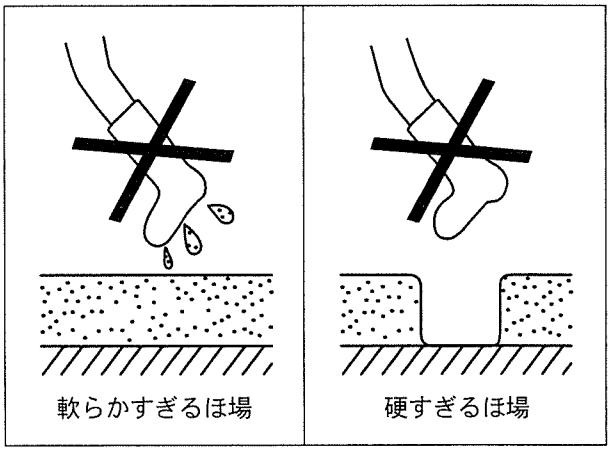
重 要

●次のようなほ場では、溝切り作業ができない場合があります。

・耕盤までの深さが30cm以上の深いほ場。
・歩いても足跡がすぐ埋まるような軟らかいほ場や、足跡が完全に残るような硬いほ場。
・切り株や稲ワラなどが表面に多量にあるほ場。

●上記以外でも条件によっては溝切り作業ができない場合があります。

●必ず溝切り作業前に走り水を５cm～10cm程度入れて下さい。



◎作業の服装

⚠ 注　意

・身体に合った作業衣を着用してください。体が露出しないようにしてボタン、ファスナを完全にして作業衣のすそはズボンの中に入れ、すそじまりをよくしてください。帽子、耳栓、保護手袋、作業長靴等の保護具を必ず着用してください。

◎運搬方法

⚠ 注　意

・運搬は必ずエンジンを停止して行ってください。

・スタンドを後方へはね上げてください。
・運搬時は製品の取っ手のいずれかを運搬姿勢によって選び、両手で持って運搬してください。取っ手以外の部分を持たないでください。
・圃場への出し入れは降車して行ってください。
・車、トラックでの運搬時は、横倒ししての運搬はしないで下さい。

⚠ 警　告

・乗車しての運搬、移動は行わないでください。
・運搬時は、クラッチハウジング、及びエンジン部のロープ掛はしないで下さい。

⚠ 警　告

・水田内での溝切り作業以外では乗車しないでください。

◎燃料の給油および補給について

⚠ 危　険

・燃料は引火しやすいので、取扱いは火災に充分注意してください。
燃料補給中にタバコを吸ったり、裸火を近づけたりしてはいけません。
・エンジンが熱いときや、エンジンを運転したまま燃料補給をしてはいけません。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こすことになります。



⚠ 警　告

・燃料を補給する際は燃料補給ポンプを使用し、機体が安定した状態で給油口からこぼさないように注意して補給してください。製品に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。
・燃料を補給した後は燃料タンクキャップを確実に締付け、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こす原因となります。

重　要

・燃料はレギュラーガソリンと、２サイクルエンジンオイルを混合した「混合燃料」です。
共立エンジンGE4500の取扱説明書をよく読んで混合および補給を行ってください。

4. 操作方法

⚠ 警　告

・操作にあたっては共立エンジンGE4500の取扱説明書もよく読んで行ってください。特にエンジンを始動する場合は記載の注意事項を守って正しく操作してください。
☆注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故を負う原因となります。

◎エンジン始動

⚠ 注　意

・エンジンを始動する前に、ボルトや、ナット、ネジが締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合はまし締めしてください。部品の破損、欠品があれば正規の部品の交換、取り付けを行ってください。

⚠ 注　意

・エンジン始動は、足場のよい本機がしっかりと固定できる場所で行ってください。エンジン始動時に、スロットルレバーを低速の位置にしておいても、車輪が動く場合は、すぐにエンジンを停止させて、エンジン側取扱説明書を読んで各部の調整をしてください。スタータグリップを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合があるので、注意してください。
☆車輪が動いてけがをすることがあります。

重　要

・スタータグリップを引くときは、まず軽く引出し更に素早く引いてください。引き紐の２／３以上は引出さないでください。
・スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。
・エンジン始動操作のときに最初の爆発音が聞こえたら、チョークレバーを戻して再度スタータグリップを引くと始動します。最初の爆発音を聞き逃さないようにしてください。

○冷えたエンジンの始動

1．燃料が漏れていないことを確認します。
2．スロットルレバーは低速、チョークレバーを閉じるの位置にします。
3．プライマリーポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリーポンプを押す・離すの操作をくり返してください。（目安５～10回）
4．周囲の安全を確認し本機をしっかりと固定してスタータグリップを数回引いてください。
5．爆発音がして、すぐに止まった場合は、チョークレバーを開くに戻して、更にスターターグリップを引き始動させてください。
6．上記４、の操作ですぐにエンジンが始動したら、チョークレバーを徐々に開にしてください。
7．エンジンが始動したら、２～３分間、アイドリング（低速運転）で暖機運転をしてください。
8．作業を開始するときは、スロットルレバーをゆっくりと高速側に動かし、作業に合わせて回転数を調整してください。

○暖まったエンジンの始動

1．スロットルレバーは低速、チョークレバーを開の位置にします。
2．燃料タンクが空でなければ、スターターグリップを引いてエンジンを始動させてください。
3．燃料がプライマリポンプ内に見えないときは、プライマリポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリポンプの操作（押す⇔離す）を繰り返してください。（目安５～10回）
4．周囲の安全を確認し本機をしっかりと固定してスタータグリップを引いてエンジンを始動させてください。

◎エンジン停止

1．スロットルレバーを低速の位置にし、エンジンをアイドリング（低速運転）状態にしてください。
2．エンジンが停止するまでストップスイッチを押してください。
3．緊急の場合は、直ちにストップスイッチを押してエンジンを停止してください。
4．エンジンが停止しない時はチョークレバーを閉の位置にしてエンジンを失速させて停止してください。

☆ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合は、再び使用する前に、お買い求めの販売店で、点検と修理を実施してください。

⚠ 注　意
・エンジン停止後しばらくは火傷防止のためにシリンダーやマフラー、ミッション部などの高温部に触らないでください。

◎溝切り作業

・溝切り作業を行う前に、作業者の体型に合わせて、シート（座席）の高さをあらかじめ調整してください。
・前後左右のバランスがとれる位置に着座してください。
・着座前に進みたい方向に本機をまっすぐにむけて着座してください。

○操　作

1．エンジン始動後、スロットルレバーでエンジンの回転を徐々に上げていくと車輪が回転を始めます。
2．エンジンの回転が充分に上がり、本機が走行を始めると同時に、両足で2～3歩の助走をしながら、蹴り出すようにスキーのストック使いの要領で左右のバランスを取りながらスタートします。
3．スロットルレバーの位置は圃場の条件によって調節してください。自転車等と同様に、前後左右のバランスを保つには一定の作業速度になることが必要です。
4．スタート時に車輪が泥へ大きく沈み込み、車輪の回りはじめが重たい場合は、着座位置を少しずつ後方にずらし、重心位置をかえてください。
車輪が空転して牽引力が不足している場合は、着座位置を少しずつ前方にずらし、重心位置をかえてください。
5．車輪が泥の中に埋まってしまい車輪が回らなくなってしまった場合は、すみやかにスロットルレバーの位置を低速に戻し、その場から脱出してください。
エンジンを停止し本機からおりて、持ち上げてスタート場所を変えるか、手押し式と同じようにエンジン回転を徐々にあげて車輪がゆるやかに回転する程度の速度で歩行して、着座スタートができる場所まで移動してください。

⚠ 警　告
・エンジン回転を急に上げると、前後左右へのバランスをくずし転倒する危険があります。徐々にエンジン回転をあげてスタートしてください。 ・着座して、スロットルレバーの位置を高速にしたまま、無理に脱出の試みを続けると、エンジン、本体の故障の原因となります。また、本機のダッシング（飛び出し）の原因ともなり危険です。

6．本機が進み始めたら、両足を前方にのばし、足裏で水面を滑る感じで左右のバランスを取りながら作業をしてください。
7．本機の進行方向は無理に修正せず、進みたい方向をまっすぐに見すえて走行してください。
☆本製品は、左右にバランスよく着座すれば、車輪の方向に直進するように設計されています。

⚠ 警　告

・無理に本機を傾けたり、足で抵抗をかけて進行方向を修正しようとするとバランスをくずし転倒する危険があります。進行方向がずれてきた場合は、いったん停止し、本機を進みたい方向にむけなおし、作業を再開してください。
・走行中、転倒しそうな時は、足を巻き込まれケガをする恐れがありますので、その場合はすぐに停止ボタンを押して停止させて下さい。

8．本機で方向転換を行う場合は、必ずエンジンを停止し本機からおりて、作業者が最も持ち上げやすい取っ手２個所を両手で持って行ってください。

9．水田内で作業する条を移動する場合は、溝切り作業と同様に着座しておこなうか、歩行式溝切機と同様に、歩行して移動することができます。

10．運転中に異常な音、振動や異常な回転、走行部への石など異物のかみ込み等が生じた場合は直ちにエンジンを停止させ点検してください。

11．走行中、ミッションケースが過熱した場合は直ちにエンジンを停止させ、点検して下さい。

⚠ 注　意

・一つの圃場の中でも、一部深く沈みこむ場所など着座して作業ができない場所では、すみやかに本機からおりて歩行して作業をし、深く沈みこまない場所になったことを確認して、あらためて着座して作業を開始してください。

⚠ 警　告

・二人乗りや本機の改造は大変危険ですのでお止めください。
・夜間や、視界が悪く暗い場所では、機械を操作しないでください。雨降り、雨上がり、強風のときも使用しないでください。
・運転中、あぜの上に乗り上がらないで下さい。バランスをくずし、転倒しケガをします。
水田内作業中あぜに近づいて来たら、すみやかにスロットルレバーの位置を低速に戻して停止して下さい。

12．本体のプラウはセンターを中心に、左右に６㎜可動します。うまくバランスをとる事により任意方向に進む事ができます。

⚠ 注　意

・プラウの取付けている箇所に泥などが入り動きにくくなった場合は水洗いをしてスムーズに動く事を確認し作業して下さい。

◎調整

○シートの高さ調整

１．シート台取り付けのボルト（Ｍ８×20）を緩めて体型に合わせて調整してください。

○分草板の調整

１．分草板の取り付けパイプ元金のボルトを緩めますと取付角度を調整することができます。
分草板が土に埋まる場合は、取付角度をあげてください。

○本体の右方向、左方向の曲がり調整（Ｐ６図参照）

１．右方向への曲がり
スプリングの両サイドに挟んである右側のＭ10ワッシャーを外して使用して下さい。

２．左方向への曲がり
左側のＭ10ワッシャーを外して使用して下さい。

３．１．２．の方法でも改善されない場合は、外したワッシャーを（右側）（左側）のワッシャーと重ねて使用して下さい。

◎点検・整備

製品を調子よく、安全に使用するために定期的に点検・整備をして下さい。

⚠ 注　意
・点検・整備をする前に必ずエンジンを停止し、冷えた状態でスパークプラグを外して作業して下さい。

・ここに示した整備の時間間隔は、最長時間です。作業頻度や今までの実績から判断して必要な整備頻度／間隔を決定して下さい。

・点検・整備をするときは共立エンジンGE4500の取扱説明書も必ず良く読んで実施して下さい。

整備箇所		整　備	使用前	毎　月
エアフィルタ		清掃／交換	●	
燃料フィルタ		清掃／交換	●	
スパークプラグ		点検／清掃／交換		●
キャブレタ		調整		●
冷却装置		点検／清掃	●	
マフラ		点検／清掃	●	
スクリュー、ボルト、ナット		清掃／増し締め／交換	●	
本体部				
1	フレーム．車輪(溶接箇所)	点検／清掃／交換	●	
2	フレーム右側車輪メタル部	点検／交換	●	
3	プラウ	点検／清掃／交換	●	

⚠ 警　告
・車輪・フレームは腐食、破損等の異常がないか作業前に必ず確認してご使用下さい。異常があるとケガをする恐れがあります。 ・プラウはすり減っている場合は交換して下さい。 ・部品の破損や欠品がある場合は必ず正規の部品の交換、取付けを行って下さい。 ・作業後は必ず、水洗いをし水を十分ふきとって保管して下さい。

⚠ 注　意
・フレーム右側の車軸メタル部の回転がスムーズでない場合はベアリングを交換して下さい。

※　ミッションへの給油

・ミッションにはギヤオイル（約370cc）が入っています。500㍗（５町歩）～1000㍗（10町歩）・又２年間の使用をめどに必ずオイルを交換して下さい。

・ギヤオイルは日本石油GL-5ハイポイドギヤオイル相当品をご使用下さい。

・オイル交換は、ミッション下部のオイルドレンプラグを外して、すべてオイルを抜いて下さい。

⚠ 警　告
・オイルのよごれ・不足によりミッションケース、ケース内オイルの温度が高温になりやけどをします。必ずオイル交換して下さい。 ・オイル点検又は交換後、オイルプラグが確実に締付けてあるか、必ず確認をして作業を行って下さい。

⚠ 注　意
・オイルに鉄粉が多く混入している場合は、フタを外してミッション内の歯車を点検し、すり減っている場合は部品を交換して下さい。

・オイルを入れる時は、上部オイルプラグより入れて下さい。
・オイルもれがないか、確認をしてご使用下さい。
・補用部品はすべて指定の純正部品をご使用下さい。

○長期保管（30日以上）
製品を長期間（30日以上）に渡って保管する場合は、
①共立エンジンGE4500の取扱説明書の内容に従って保管の際の整備を必ず実施して下さい。
②各部の泥をていねいに水洗いをして下さい。
③水洗い後、水を十分ふきとって下さい。
④保管する時は、日光の当たらない風通しの良い場所に、固定をしてたおれないようにして下さい。

○製品の廃棄について
製品や部品を廃棄する時は、販売店に相談するか、自治体の指導に従って下さい。

5. 仕　　様

型　　式		MKS4501SR
寸法：長さ×幅×高さ　(mm)		1,240 × 440 × 997
本体乾燥重量　(kg)		24
エンジン	名　　称	空冷２サイクルガソリン
	排　気　量　(ml)	41.5
	始動方式	*i*スタート
車　　輪　　径　(φmm)		600（ラグ10枚）
ラ　グ　高　さ　(cm)		3
標準溝切幅　(cm)		15～19
標準溝切深さ　(cm)		10～14

取扱い方法、手入れの仕方、故障・修理などの時は、購入先へご相談下さい。

購入先名	担当者名	電話番号 （　　）
購入日 年　月　日	機体番号	

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市藤田 566-159　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

(C)2009 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

E101－202